

令和2年度 第2回学校評議員会 会議録

1 日時 令和3年2月16日(火) 15:00～16:30

2 場所 水沢高等学校 大会議室

3 出席者

○学校評議員

後藤 真子 岩村 正明 小野寺 和人
花田 英夫 菅原 敏

○教職員

校長 及川 晃貴 副校長 継枝 斉
事務長 高橋 正美 総務主任 高橋 直文
教務主任 去石 淳 生徒指導主事 佐々木 明志
進路指導主事 目黒 賢哉 保健主事 青井 千明
SSH主任 鈴木 竜矢

4 次第

(1) 開会 (2) 校長挨拶並びに今年度の教育活動の総括

(4) 学校概況説明(学校評価など) (5) 協議 (6) 閉会

5 協議内容 ○: 学校評議員 △: 教職員

○ 大学入試に於いて、推薦入試の合格率が高い。生徒もそうだが、指導に当たった先生方のご尽力もあったと思う。水沢高校は地域の進学校であるので進学率は外せない。「7学校は学年通信、ホームページなどで、学校の様子を積極的に保護者に知らせている」について、生徒の評価は1(その通りである)が52.5%と高評価なのに対して、保護者の評価は1が25.8%と高くない。そのあたりの原因は何か。

△ 保護者の評価2(どちらかといえばどの通りである)が高いので、おそらく、発信している内容が保護者の欲しているものとマッチしていない部分もあるのではないかと。

○ 配布物についてはおそらく生徒を介しているために、保護者への提供がなかなか難しい状況があるのではないかと。

○ 部活動について、熱心に活動しているかの項目について、保護者の評価は年々下がってきているがそのあたりはどうか。

△ 部顧問が、専門性を持っている教員が望ましいのだが、そうはいかないことも多く、外部コーチを探したりしてはいるがなかなか見つからない。特に陸上競技の専門家を探しているが見つからない。

- 生徒たちの頑張りに応えてあげてほしい。
- △ 現在は、部活動指導員制度が始まっており、本校では現在2名の部活動指導員の方をお願いしている。
- ウェイトリフティングなどは、現在は水沢高校がトップを走っている。これはなぜなのか。
- △ 今は指導のエキスパートがいて、その指導の結果生徒は伸びてきている。
- 昔から水沢高校は進学校として県内でも名を轟かせていたが、現在の状況はどうか。
- △ 花巻、北上、水沢の各進学校で、よい競い合いがなされているととらえている。
- 授業の理解度でクラス替えをするなど工夫はしているか。
- △ 過去には習熟度別でクラスを編成していた時期もあるが、現在は行っていない。ICT活用による学習の個別化もみながら考えたい。
- 生徒と保護者のアンケートに違いはあるが、生徒が学校を楽しんでいることが一番である。教員アンケートの結果については伸びしろが大きいと感じる。
- △ 保護者と生徒のギャップの分析は大切であるので、今後分析を進めていく。
- 生徒には悩みを気軽に話せる人がいることが大切である。悩みについては数が少ないからよいというわけではなく、少数でもきめ細かく対応してほしい。
- 生徒の視力の問題があるようだが、保育園児でもスマホの見過ぎで視力が落ちている例がある。子どもが集中するからと親が動画サイトを見せるためだが、小さい頃からの健康について教えていきたいと常々思っている。
- 学校評議員になり、高校生の様々な活動を拝見して、高校ではこういう取り組みもやっているのかとわかったこともある。たとえば、地域の行事への参加とか、ボランティアなどにも取り組んでいるのか。町内会の高齢者向けの催し物に、コーラスなどをお願いしても大丈夫か。
- 今年は大雪で、通学時に生徒が転んだりして危険なので、町内会から市にお願いして融雪剤をまいたり、歩道の除雪も行った。これからも要望があれば遠慮なく申し出ていただきたい。
- △ 地域の見守りには深く感謝したい。
- △ 今年度はコロナウイルス感染症の影響で、ボランティア等なかなか出来ない年であったが、生徒は例年、何かしらのボランティア活動に参加している。
- △ 音楽部はかなりの行事に参加しており、声をかけていただければ、実現に向けたい。
- S S R（課題研究）の活動で、2年生の生徒が幼児教育に関するアンケート調査に園を

訪れた時があった。保育園の仕組みはとても難しく理解しにくいところがあり、それらを理解する上でこのような社会的な体験は重要だと思うので、どんどんやってほしい。

- 制服変更のルールはどう決めるのか。制服はない方が清潔であり、制服のない日常生活から品位ある服装を学んでいくとの考え方もある。制服の改定を通して、公の場で公平な手続きを踏みながら進めていくことを学んでほしい。